

ネモフィラ通信

3年目“私の特権” ～ 17病棟 小児科、眼科 ～

小児科では、遊びを取り入れた子どもとの関りをモットーに、保育士と協力し七夕やクリスマスなど、季節ごとにイベントを行っています。身体的、精神的に負担も多い入院生活を送っている子ども達が、無邪気に楽しむ姿や、笑顔を見られるのは、とてもうれしい瞬間です。その関りの中で、子どもの成長や、回復していく姿を間近で見ることができ、更に子ども達が元気になり笑顔で退院していく姿は、私たちにとって何よりの励みになっています。小児科だからこそ、“特権＝やりがい”だと思います。

日々の中で慣れない入院生活や治療で不安や恐怖を感じ、警戒心からうまく子どもとコミュニケーションが取れず悩むことがあります。児の気持ちを理解した関りができるようにしていきたいです。(Y・I)



今月の一場面 食事介助しているところで・・・

普段は寝たきりであるが、1日1回車椅子へ移乗を行っている患者さんがいる。その貴重な1回にデイルームで、看護師が見守りのもと、患者さんの希望を尊重しゼリーで1口1口訓練しているのだ。そんな患者さんが、いつになく目を見開きスプーンが進んでいると思ったら、大好きなアイスクリームを家族が持ってきてくれた。好きなものを口から摂取できるのは、やはり一番の活力になる。そんなほっこりとしたお昼前の出来事が行われた場面でした。

